

学校番号 151

学校名 三和小学校

コミュニケーション力向上推進校


### 1 研究の重点と具体的な取組

1 研究の重点と具体的な取組

(1) 重点1 協働を生む教師のしかけ

①本校におけるコミュニケーション力を「①必要感②対話③深める」と定義する。

②研究授業をはじめ、日々の授業の中で、協働を生むしかけに取り組む。



③取り組んだしかけが有効であったかを、授業整理会や学年会で協議する。

(2) 重点2 児童のゴールの明確化

児童のゴールの姿(B基準)を具体的に設定し、付けたい力を明確にした授業づくりに取り組んだ。

①研究授業では児童が書いたまとめやふり返りをもとに検証する。

②A評価のものを研究通信で共有。

重点2：児童のゴールの明確化

B評価：「伊藤博文は天皇が強い力をもてるような憲法をつくった。そうすることで、天皇を中心とした、外国に負けない強い国づくりができるようになる」と考えている。(まとめを見て評価)

B評価ノート

③伊藤博文は、天皇を中心とした憲法をつくった。だから、この国は強くなる。だから、外国に負けない強い国づくりをしよう。

○ ドイツの憲法と比較しながら、大日本帝国憲法を肯定したねらいを考えている。

C評価	3人
B評価	21人
A評価	1人

○ 「天皇を中心とした憲法をつくりたい」という伊藤博文の思いを、考えることができた児童が多かった。

★ 「外国に負けない強い国づくり」というところまで考えさせるには、単元を通して「明治政府の取組は外国に追いつくことにつながっていたのか」と考えさせていくことが必要だった。

③学期末に教科を定め、ノートに書かれたまとめやふり返りをもとに検証する。

### 2 研究の重点と具体的な取組の内容

CAP-Dチェック(教師用・児童用アンケート)

教師用アンケート	5月	1月
協働を生む教師のしかけをすることができたか。1週間に3回	22	100
ふり返る：協働のよさや友達の良さについて、ふり返りに書かせることができたか。	52	72

児童アンケート	5月	1月
「深める」などの場面で、みんなで話し合っ解決したくなりましたか。	71	96
ふり返る：協働のよさや友達の良さについて、ふり返りに書くことができましたか。	79	93

教師アンケート、児童アンケート共に項目の数値が向上。  
 「協働を生む教師のしかけ」が日常的にどの授業においても行われている。  
 児童の「話し合っ解決したい」という意識も向上している。  
 また、課題であった相手意識も、コミュニケーションを通して育ちつつある。

### 3 成果と課題

1 成果

(1)「協働を生む教師のしかけ」の日常化。  
 (2)コミュニケーションの必要感をもつ児童の増加。  
 (3)ふり返りによる相手意識の育成。

2 課題

・「教師が教える授業」から、児童が必要感をもってコミュニケーションをするような「児童が学び取る授業」への移行

教師用アンケート	5月	1月
協働を生む教師のしかけをすることができたか。1週間に3回	22	100
ふり返る:協働のよさや友達の良さについて、ふり返りに書かせることができたか。	52	72

児童アンケート	5月	1月
「深める」などの場面で、みんなで話し合っ解決したくなりましたか。	71	96
ふり返る:協働のよさや友達の良さについて、ふり返りに書くことができましたか。	79	93

# 令和6年度 新金沢型学校教育モデル実践推進事業 報告書

学校番号

学校名

校長名

担当者名

## 1 研究の重点と具体的な取組

※実施計画書の「2 研究の重点と具体的な取組」をもとに記載すること  
※箇条書きで簡潔に記載すること  
※写真等も使い、板書やノート等の提示、児童生徒の活動の様子等、分かりやすく伝わるよう工夫すること

## 2 研究の重点と具体的な取組の内容

※実施計画書の「検証方法」による検証結果をもとに簡潔に記載すること  
※成果が見られた検証結果については、グラフや表等も使い、視覚的に分かるよう工夫すること

## 3 成果と課題

※本事業の目的を踏まえ、「金沢型学習スタイル（ICT版を含む）に基づく授業改善の推進」の観点で記載すること  
※上記の「取組の検証」に記載した結果に基づき、成果と課題を箇条書きにて簡潔に記載すること

### ※その他の留意点

- 以下の様式で作成すること
- ・「1 研究の重点と具体的な取組」等の見出しは、MSゴシック体12P
- ・見出し以外は、すべてMS明朝体12P
- ・文字位置やスペースの明け方は、以下のとおり（□は全角、▯は半角スペース）

### 1 □研究の重点と具体的な取組

#### (1) ▯重点1□主体的に問題解決するための指導の工夫

- 算数科の授業において、主体的に問題解決することができるよう  
問題意識を高めることができる教材・教具の工夫を・・・・・・・・
- ①校内研修会の・・・

○写真掲載の際は、児童生徒の肖像権や個人情報等に配慮すること

○本報告書については、学校指導課に提出するとともに、ホームページで発信すること